


北海道社会教育委員の会議兼生涯学習審議会まとめの公表(動画配信)概要について

1 配信方法: 社会教育課YouTubeチャンネルを活用

資料4

2 主要時間: 約2分

3 進行等:

項目	内容	担当	画面
1 オープニング	<p>オープニング</p> <p>〈テロップ①〉</p> <p>「北海道社会教育委員の会議兼第16期北海道生涯学習審議会まとめ」 テーマ「北海道の社会教育施設が果たすべき役割 ～全ての人の可能性を引き出し、ウェルビーイングを実現する生涯学習・社会教育～」</p>	課内担当者	テロップ① 4秒
2 説明①	<p>〈テロップ②〉</p> <p>議長兼会長 吉岡 亜希子 (父親ネットワーク北海道事務局長(北海道文教大学教授))</p> <p>○みなさんこんにちは。 北海道社会教育委員の会議兼第16期北海道生涯学習審議会 議長兼会長の吉岡亜希子です。 ○私たち15名の委員は、令和4年度～令和5年度の2年間、「北海道の社会教育施設が果たすべき役割」をテーマとし、サブテーマを「全ての人の可能性を引き出し、ウェルビーイングを実現する生涯学習・社会教育」として、議論を重ね、この度「まとめ」を作成しましたので、報告します。</p>	吉岡議長	テロップ② 吉岡議長
2 説明②	<p>○私たちは、これまでにない急激な変化の時代に直面しています。近年で最も顕著な変化は、新型コロナウイルスを契機としたデジタル化の浸透と飛躍的な拡大といえます。 ○オンラインによる学習は、広大な北海道に暮らす私たちにとって新しい学びの可能性を広げました。 ○一方で、デジタル技術を理解し、適切に活用することが暮らしに必要な不可欠となる中、新たな格差を生み出すことにもなりました。 ○高齢者など一部の人のデジタルデバインド問題は、社会教育施設で行われてきた対面での学びが欠かせないことを気づかせてくれました。 ○このような中、私たちは、テーマを基に2年間で、公民館、図書館、生涯学習施設への現地調査やヒアリング調査と議論を行いました。</p> <p>○調査や議論を通して、改めて、社会教育施設が地域で長い歴史を持つ、「信頼される場」であるということに気づかされました。 ○これらを踏まえた、委員の意見をまとめとして報告しておりますので、皆様の参考になれば幸いです。 ○全ての人の可能性を引き出す生涯学習・社会教育を通じた真の意味での共生社会の実現こそが北海道の力となるでしょう。 ○今期のまとめが北海道における社会教育施設の役割、意義を見つめる契機となること、そして、希望の光となることを願っています。</p> <p>○最後に、公民館、図書館、生涯学習施設への現地調査やヒアリング調査にご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。</p> <p>○ 詳しくは北海道教育委員会生涯学習推進局社会教育課のホームページをご覧ください。</p>	吉岡議長	吉岡議長
おわりに	<p>〈テロップ③〉</p> <p>本文はこちらから</p> <p>QRコード </p>		テロップ③